

## つくる！できる！ 認知症になっても笑顔で暮らせるまち



## 認知症当たり前の時代

「65歳以上の高齢者の3～4人に  
ひとりが認知症」の体制づくりが  
急がれる！！

- ・介護が必要な認知症高齢者は全国に305万人
- ・そのうち、半数が特別養護老人ホームなどの施設や精神科病院に入院している。
- ・入所待機者が全国で約42万人
- ・そのうち、自宅待機者が約20万人
- ・グループホーム月14万円＋医療費

将来的に施設の収容力不足が予想される



\* 平成22年(2010)1年間の要介護認定データを基に算出  
 \* %は、65歳以上人口に対する比率  
 \* 将来推計人口に、平成22年9月の認知症高齢者割合を性別年齢階級別に乘じて推計したもの

認知症の人は、精神科病院や施設を利用せざるを得ない！



認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けることができる社会を！！



認知症施策推進5か年計画（オレンジプラン）  
平成25年度から29年度までの計画

1. 標準的な認知症ケアパスの作成・普及
2. 早期診断・早期対応
3. 地域での生活を支える医療サービスの構築
4. 地域での生活を支える介護サービスの構築
5. 地域での日常生活・家族の支援の強化
6. 若年性認知症施策の強化
7. 医療・介護サービスを担う人材の育成

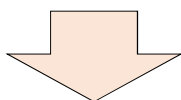
現状は

認知症の人に対する介護の問題

1. 介護と医療の連携体制の不具合
2. 認知症患者数の増加に伴うサービスの対応の不足
3. 認知症患者の重症化への対応が十分できていない
4. 介護保険施設・事業所の職員の認知症への理解の不足
5. BPSDへの対応困難

## 軽度認知障害（MCI）

軽度認知障害（MCI）と呼ばれる認知症の「予備群」が約400万人  
認知機能が年齢相応のレベルより低下しているが、日常生活は基本的に正常に送れる状態で、医療機関等で適切なケアを受けずに放置すれば、**5年後には半数の人が認知症に進むとされる。**



早めに状態にあった「治療と介護」を始めれば、発症を遅らせたり  
進行が緩やかになることがある  
だから、**早期発見・早期支援**が望まれる

## 若年性認知症

- 全国の若年性認知症の推計値：37,800人
- 18歳～64歳人口における、人口10万人当たりの若年性認知症の推計値（有病率）：47.6人
- 推計発症年齢：51.3±9.8歳
- 男性の発症率が高い傾向に
- **異常であることには気がつくが、受診が遅れる**  
**また、初発症状が認知症特有ではなく診断しにくい**
- 経過が急速な場合がある

加東市 人口4万人  
19人

若年性認知症の実態と対応の基盤整備に関する研究総合研究報告書(2009.3)より  
調査期間 平成18年～20年度  
調査地域 熊本県・愛媛県・富山県・群馬県・茨城県・横浜市港北区・徳島市

## 若年性認知症

### 18歳以上、65歳未満で発症する認知症

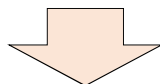
病気によって仕事や生活に支障がでると、本人や家族だけでなく、**社会的な影響が大きい**(働き盛り)

経済的な問題が大きい

主介護者が配偶者に集中する

家庭内での課題が多い

(就労・子どもの教育・結婚) 等



若年性認知症の闘病の経過のプロセスを理解し、  
本人および家族の心理状態や**個別性**を理解し、  
**様々な福祉制度**を活用しながらサポートしていくことが望まれる

## 男性介護者の問題

- ・ 現在、**介護者全体の3人にひとり**は**男性**で、人数にして約100万人と言われている。
- ・ そのうちの**認知症の人の介護者のうち、約3割**が**男性**であり、年々増えている。
- ・ 妻を介護する夫…家事の経験が少なかったり、相談できるような近所付き合いが少なかったり、仕事と同じように介護にもよい結果を求めてしまう
- ・ 老老介護
- ・ 親を介護する単身の息子(未婚あるいは離婚…)
- ・ 親の年金で暮らす息子 等

介護や家事への不安・障害や認知症の受容・社会からの孤立などから…

### 高齢者虐待

H23年度 兵庫県での虐待通報件数

養護者 **息子** : 336人(41%)  
**夫** : 156人(19%)

### 介護殺人

H18年度～H21年度の4年間

加害者113人中 **息子** : 44人(39%)  
**夫** : 30人(27%)

認知症になっても笑顔で暮らせる  
まちをつくらう宣言

私たちは…

認知症がも? おやつと思っただけで相談します  
(早期の対応)

元気なときもしんどいときも周りを見わたし、つながります  
(孤立化防止)

認知症の人の気持ちを理解し、ひとりひとりが持つ力を信じます  
(本人中心のケア)

行きたいところへ行き、会いたい人に会えるよう応援します  
(徘徊行方不明の予防)

オレンジリングを目印に認知症の人やすべての人を応援します  
(認知症サポーターの役割)

認知症やねん! 誰がなっても言えるやさしいまちをつくります  
(権利擁護)

認知症についてのご相談は… TEL.43-0440 加東市高齢介護課